

2021.9.21

ご報告：9/18 第 25 回働学研（博論・本づくり）研究会

十名 直喜

9/18 第 25 回働学研（13 時半～17 時半）は、2021 文化政策セミナー（9/18-19）の一環として開催されました。下記の 39 名にご参加いただきました。

（敬称略：池上、池田、岩田、太田、片山、金井、金田、聴涛、岸本、木林、熊坂、小宮、近藤、櫻井、澤、白石、杉山、鈴木、高瀬、高松、槌田、程、富澤、中野、中谷、野口、濱、平川、平松、広瀬、藤岡 j、藤岡 ji、三輪、安嶋、山田、横田、十名、他 2 名）

3 部構成で 7 本の研究発表がなされました。いずれの発表も熱がこもり、議論が活発に展開され、実に興味深いものとなりました。所定時間（30 分/本×7 本）に抑えることは至難で、半時間ほどオーバーし、4 時間にわたる熱戦となりました。参加者数、時間のいずれも、これまでの最多となりました。

ただ、発表を兼ねた司会にとって、オーバーワークを実感しました。参加者各位にもご迷惑をおかけしたのでは、と深く反省する次第です。

7 本の発表の趣旨と論点は、下記に簡単にまとめています。ご覧いただければ、有り難く存じます。

9/18 午後（13:30～17:00）：環境・文化・技術の 21 世紀的諸相と課題 働学研（博論・本づくり）研究会

（司会：十名、画面：澤 発表 15 分・議論 15 分：計 30 分/本）

第 1 部：21 世紀の都市づくり ー環境&文化価値の向上

程 遠紅：「博論目次 & 第 6 章 中国における環境教育の現状と課題」（30 分）

高松平蔵：「価値集積地としてのドイツの中心市街地」（30 分）

杉山友城：「福井から眺める地域づくりの視点ー獲得・親和・学習・防衛」（30 分）

第 2 部：21 世紀「大工業」の諸相と課題

片山勝己：「工具調達の仕組みと効率化方策 ー大規模製造業を中心にして」（30 分）

太田信義：「CASE」における技術アウトソーシングの役割と課題
ー自動車における技術大変革の到来」（30 分）

第 3 部：ICT と地球有限時代の生産力とサステナビリティ

平松民平：「ICT が促す「新しい生産力」」（30 分）

十名直喜：「地球有限時代の生産力概念とサステナビリティ」（30 分）

程さんの発表は、博士論文の全体像と肝となる第 6 章のポイントについてです。日本の先進自治体のごみ減らし・分別活動を、行政・学校・家庭・企業などの協働ネットワークとして捉え、中国への政策的な示唆を見出すというものです。廃棄物をめぐる生産・消費、

技術・文化、歴史・現在の全体像の中でまとめるべし、との指摘もありました。

高松さんの発表は、都市の質とその経営についてなされました。ドイツの地方都市エアランゲンにみる歴史的・文化的な特徴を、市街地に焦点をあてて示されたものです。人間の尊厳と生活の質、公共空間と文化、経営と経営体、歩いて楽しめるまちづくり、日独の違い、などをめぐって議論が交わされました。

杉山さんの発表は、福井の地域にみる生活・文化の豊かさを多面的に考察されたものです。「獲得・親和・学習・防衛」という「4つの衝動」の視点から、福井の暮らしを分析し、「幸福」とは何かを深く問いかけています。福井は、「原発の集積地」でもあります。それが、「豊かさ」に問いかけるものは何か、という論点も出されました。

片山さんの発表は、工具研究の論文化と企業内学校の博論化の道筋を示されたものです。国際文化政策研究教育学会および『国際文化政策』のあり方についての質問・提案もなされました。後者は、社会人研究者と学会および学会誌との関係についての深い問題提起で、中谷編集長および創設者の池上先生からの深いリプライもあり、圧巻でした。

太田さんの発表は、ICT 革命のもと大きく変容するクルマ産業の生産現場に焦点をあてたものです。CASE（連結・自動・共有・電動化）への自動車メーカーの対応について、トヨタ&デンソーの最新事例を提示されました。日本産業への衝撃だけでなく、ソフト化、サービス化の急速な進展がはらむ深い意味と課題は何か、という論点も提起されました。

平松さんの発表は、ICT が生産力および資本主義にどのような変容を及ぼすかを示されたものです。ICT は、人間と自然との物質代謝をどのように変容させ、マルクスの時代とどのように異なるかを話されました。ICT の発展は、資本主義を超克するのか、技術進歩をも支配・収奪の手段に転嫁する巨大資本の深い闇、などの論点が出されました。

十名の発表は、十名[2021.7]「ICT が問い直す生産力・技術・労働・物質代謝論」を、サステナビリティ論&経営哲学の視点から捉え直したものです。「サステナビリティの経営哲学—渋谷栄一にみる日本資本主義の原点と 21 世紀課題」（作成中）の前座として。生産と人類史、サステナビリティ経営と資本主義、富の再分配などの論点が出されました。